

あとがき

編集顧問

越智隆弘
小野啓郎
竹光義治
守屋秀繁
山室隆夫
矢部 裕

編集委員

糸満盛憲
荻野利彦
菊地臣一
黒坂昌弘
清水克時
高岸憲二
富田勝郎
戸山芳昭
吉川秀樹

編集同人

井形高明
生田義和
井樋栄二
岩田 久
岩本幸英
大井利夫
小野村敏信
加藤博之
金田清志
腰野富久
紺野慎一
柿田喜三郎
酒匂 崇
桜井 実

澤村誠志
田辺剛造
田畑四郎
玉置哲也
中村耕三
馬場久敏
浜西千秋
廣谷速人
佛淵孝夫
三笠元彦
三浦隆行
持田讓治
山田治基
吉川靖三

師走に入ったところでこの原稿を書いています。激動というよりは混迷の2009年(平成21年)でした。2010年はそれに輪を掛けたような年になると覚悟しています。

今という時代、教育や医療制度は私が研鑽を積んでいた時期のそれとは異なり、大幅に変更されてきています。FDとかチュートリアルとか、カタカナ言葉が氾濫しています。より良き教育のために、われわれ自身が変わることが求められています。時代のパラダイムシフトに対応するには、We must change to remain the same, その通りです。ただ、私にはいまだに違和感が残ります。教育とは、教える者の熱い心と学ぶ者のひたむきな姿勢があって初めて成立します。卒後研修制度の発足以来、学ぶ者に受け身の姿勢が目立ちます。一方、教える側にも教える技術を学ぶ機会がなかったためあって、戸惑いとともに、距離を置いて相手を傷つけないように気を遣っているようにみえます。このような環境では師弟の絆は成立しにくくなっているような気がします。「教育とは一緒に動くこと」という私の考えは古いのでしょうか。こんなことを考えるのは、私の周囲で想定を越える若者の不祥事が続出しているからです。「楽観主義者は、すべての困難の中に好機を見出す(チャーチル)」のだそうですが、とてもそんな心境には至りません。

医療や医療保険の制度変更は、わが国の整形外科の前途に困難が待ち受けていることを暗示しています。「手術もできる運動器のプロ」として、これからも国民から信頼してもらうにはどうすればよいのか、選択の分岐点に立っているような気がします。迷った時は原点に立てばよいのです。判断するのは医療の提供側ではなくて国民です。たとえ、その判断が後世間違っていたとわかったとしても、です。国民がわれわれを支持してくれるだけの自己規制と社会貢献を提示すればよいのです。

米国の医療制度や医療保険制度の問題の深刻さは、少し文献を調べればわかります。ただ、それと比較できる統計調査がわが国には整備されていません。このことの重要性については、既に指摘されています。いずれにせよ、制度や社会システムの変更を問う場合には、文化や伝統を含んだ歴史を踏まえてデザインを考えないと木に竹を接いだようになり、結局は改悪になります。誤った「改正」は当初の目的とは似ても似つかないものになってしまうのではないのでしょうか。わが国が同じ轍を踏まなければよいのですが。

混迷をさらに深めるであろうこの1年、われわれがすべきことは、運動器のプロとして自らを磨き、それを国民に、そして医学を志す若者にわかってもらう努力をすることではないのでしょうか。チャーチルの警句を信じて。本号は、第83回日整会学術総会の四宮謙一先生の抱負と慢性腰痛の保存療法の特集が載っています。この二つにわが国の整形外科が突き付けられている課題と今後の方向性がすべて含まれているように思います。

(菊地臣一)

臨床整形外科 (第45巻第1号)

2010年1月25日発行(毎月1回25日発行)

定価 2,520円(本体2,400円+税5%)

[2010年ぎめ予約購読料29,400円、
電子ジャーナル閲覧オプション付
38,300円(配送料弊社負担)]

E-mail rinseige@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinseige>

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電話 編集室直通 (03)3817-5702(担当:石井・山崎)

販売部直通 (03)3817-5659・5660

ファクシミリ (03)3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 (株)アイワード 電話 (011)241-9341

広告申込所 (株)医薬広告社 電話 (03)3814-1971

・Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo © 2010, Printed in Japan.

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

・**JCOPY** (株)出版者著作権管理機構委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の承諾を得てください。